

野田市教育委員会定例会会議録

- ◇日 時 令和3年12月22日（水）午後1時30分開会 午後2時22分閉会
- ◇場 所 野田市勤労青少年ホーム2階講習室
- ◇出席委員 染谷篤教育長 伊藤稔教育委員 高橋保教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇説明職員 山下敏也教育次長（兼）生涯学習部長 戸塚進生涯学習部次長（兼）教育総務課長 安藤剛行生涯学習課長 桑村典子青少年課長（兼）青少年センター所長 葛西真理子興風図書館長 下川泰弘学校教育部長 中居章学校教育部次長（兼）学校教育課長 角田敏雄指導課長

◇書 記 鈴木一敏教育総務課長補佐（兼）庶務係長

◇付議事件

- (1) 令和3年度末及び令和4年度野田市立小中学校職員人事異動方針について

◇教育長の報告事項

- ・教育総務課
 - (1) 野田市表彰条例に基づく表彰等について（生涯学習部）
 - (2) 寄附について
- ・生涯学習課
 - (1) 令和3年度子ども未来教室（小学校3年生）の概要報告について
 - (2) 令和4年野田市成人式について
- ・青少年課
 - (1) 野田市少年野球教室の開催結果について
- ・学校教育課
 - (1) 新型コロナウイルス感染症の対応について
 - (2) 公立幼稚園園児応募状況について
 - (3) 令和3年度第1回野田市通学区域審議会会議の概要報告について
 - (4) 野田市表彰条例に基づく表彰等について（学校教育部）
- ・指導課
 - (1) 令和3年度第2回いじめアンケートの結果について
 - (2) 第49回マーチングバンド全国大会の結果について

◎染谷教育長

ただいまから、令和3年12月教育委員会定例会を開会いたします。

本日、傍聴人の方はありません。

それでは早速、会議の方を始めたいと思います。本日の会議録署名委員を、永瀬委員にお願いします。

(永瀬委員了承)

◎染谷教育長

会議録承認の件に入ります。令和3年11月定例会の会議録について、事前に資料を配付しているところですが、御意見等ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎染谷教育長

御異議なしと認め、会議録につきましては承認します。

それでは、会議次第に従い議事を進めます。

本日の議題は、議案1件、報告事項10件となっております。

それでは、議案第1号を議題とします。

(書記議案朗読)

◎染谷教育長

事務局から説明をお願いします。

学校教育課長。

◎中居学校教育課長

令和3年度末及び令和4年度野田市立小中学校職員人事異動方針について説明申し上げます。

野田市の小中学校職員の人事異動につきましては、千葉県教育委員会が定める「公立学校職員人事異動方針」及び「東葛飾教育事務所人事異動推進方策」を基本として進めております。本市の教育の一層の充実を期するため、全市的な立場で、職員の重点強化など、教育現場の人的条件が一層整備されるよう、人事異動を図ってまいりたいと考えています。

職員の資質の向上と人材育成を図り、「市民に信頼される学校づくり」、「開かれた学校づくり」を推進したいと思います。円滑な学校運営が行われ、教育効果を高めるため、職員構成上の地域等格差や永年勤続者の解消を図り、適材適所の人事を積極的に推進していきたいと考えております。

また、野田市の人事異動に係る留意点につきましては、資料4ページのとおり、六つの重点を設け取り組んでまいります。概要を申し上げますと、「1 人事異動については、全市的立場に立つて行うこと。」、「2 管理職の適正な配置及び登用に努めること。」、「3 計画交流を含めた積極的な市間交流を図ること。」、「4 特別支援教育の指導者の確保と適正配置を図ること。」、「5 新規採用職員の配置について、十分に配慮すること。」、「6 再任用職員の配置について、学校や地域の実情等を踏まえて、計画的に行うこと。」。以上の点に留意して進めてまいります。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

◎染谷教育長

ただいま、事務局から説明がありました。

この件につきまして、御質問、御意見等がありましたらお願いします。

高橋委員。

◎高橋委員

2点教えてください。まず1点目は、「若年層での計画交流も含めた市間交流を積極的に行う」とあるわけですが、1年でも2年でも3年でもいいので、分かる範囲で、野田市から他市へ出た先生方の数、それから、他市から野田市に入った先生方の数、これを1点教えていただけますでしょうか。

2点目は、今年の今頃、中央教育審議会が、2022年度から小学校の教科担任制を導入していきたいというような答申を出しています。現在、小学校において教科担任制と考えられるのは、音楽、それから、図工が一部の学校でしょうか。それから、英語がそうですか。それで、英語が、どの程度教科担任制になっているのか。そして、その配置する基準があるのか。その辺をちょっと教えていただけますでしょうか。以上です。

◎染谷教育長

学校教育課長。

◎中居学校教育課長

計画交流の人数について説明いたします。昨年度から過去3年間分の人数を小中合わせた数でお知らせしたいと思います。令和2年度末に異動した中で、野田市から他市へ異動した職員は5名、逆に他市から野田市へ計画交流した方は7名。令和元年度末は、野田市から他市へ異動した職員は9名、逆に他市から野田市へ入ってきた職員は6名。平成30年度末は、野田市から他市へ異動した職員は13名、逆に他市から野田市へ異動した職員が7名というふうな数字になっております。

教科担任制についてお答えいたします。今、高橋委員が言われましたように、現在、図工とか音楽に関しましては、学校常置教員を使って配置されてるケースが多いと思います。文科省の方では、外国語に関しましては、加配教員を使った配置ということで進めております。今まで少人数指導で配置されていた職員を、教職員の負担軽減ということで、単独で授業ができる職員ということで英語専科、それから、昨年度から少し人数が増えてきたんですけども、小学校の生活指導といったものが、今まで少人数加配であったものが、どんどん専科教員として変わってきております。

現在、英語専科として配置されてる学校が3校ございます。南部小学校、清水台小学校、岩木小学校の3校です。大規模校に配置する傾向が多いんですけども、この英語専科に関しましては、1週間当たり24時間以上という縛りがありますので、どうしてもその時間を費やすためには、中規模から大規模校に配置せざるを得ないという状況になっております。文科省の方からも、年度を追うごとに少人数指導から専科教員へと変えるということになっております。例えば、生活指導に関しましては、昨年1名しか配置されなかったのが、今年は5名ということで、各学校で理科とか、それから算数・数学とかに、細やかな指導ということで配置されればと思っているところでございます。令和4年は、更に人数が増えるものと思われまます。以上でございます。

◎染谷教育長

高橋委員。

◎高橋委員

ありがとうございました。まず、計画交流のことなんですが、これは人数制限というのはあるのでしょうか。例えば、野田から他市へ何人以内とか、全くそういう制限はないのか。それともう一つは、こういう交流に乗った人の中で、約束事で交流に乗っている人がいるのかどうか。その辺を教えてください。

それから、2点目の教科担任制についてなんですが、小学校も英語が必修になりました。

3校に専科教員を加配されている。今年度、更に広がる可能性もないとは言えないと思うんですが、どちらにしても今、週24時間以上持っている学校という規定があるということは、小規模校については恩恵を受けない。小規模校に対する市教委の、何か支援というのはあるんでしょうか。その点を教えてください。

◎染谷教育長

学校教育課長。

◎中居学校教育課長

まず、1点目の計画交流の制限についてお答えいたします。制限については、特に規定等は決まっておりません。ただ、あまり野田市から出す人が多くて、野田市の方に入っていない人が多くなると欠員が多くなりますので、その辺は数を調整しながらということで進めているところです。調整の方は東葛教育事務所の管理課の方で行い、その指示に従って進めているところです。約束事というのは、市間交流に関しましては3年というルールになってますけれども、それでも行き先で出産を迎えられたりとか、そういった家庭の事情等で、やむを得ず4年、5年になる方も中にはいらっしゃいます。

2点目の英語の小規模校への支援ということですが、実際に加配教員が置かれていないのが事実でございます。ただ、英語指導の研修ということで、指導課主催の研修が年に1回、先ほど指導主事に聞いたところ、英語が導入される前に年に2回、必ず英語指導の研修を行ってきたということで、かなり学校の方では英語指導の方は定着しているようです。それもあって年1回に減らしたということですが、それから、指導課の方でALTの活用ということで配置をさせていただいております。大規模校では高学年限定になってしまうんですが、逆に小規模校では、高学年だけではなくて、低学年、中学年にもALTが入って教えられているという意見もあるのかなというふうに考えております。今後ですが、英語専科の方が増えてきた場合においては、兼務ということで、複数校配置ということも考えながら、小規模校とか中規模校も、是非、加配教員の配置の方を進めていきたいと考えております。以上です。

◎高橋委員

ありがとうございました。市間交流というのは一時、野田市も外に出たいという希望者はいっぱいいて、入ってくる人がいないということで、非常に交流が滞った時期もあったわけですが、これを上手く利用して、若い先生方を他市で経験させて、野田に帰ってきてもらうということを、是非、上手く利用していただきたい。言葉は悪いんですけど、これから大変な時期になると思いますが、よろしくお願いします。

2点目の教科担任制については、研修ということですが、年に1回の英語の研修でどれだけの力がつくのかなど。やらないよりはいいというふうに思うと、やっぱり今の時点ではALTの活用かなど。それで、今課長さんおっしゃいましたように、複数校に配置できるような、そういう仕組みができるように働きかけていただきたい。これは教育長さんにもお願いしたい。そうしないと、やっぱり差がつくと思うんです。ですから、是非そういうものが実現して、人事がスムーズにいけばいいなというふうなことを思っております。これはこれから大変ですが、よろしくお願いします。以上です。

◎染谷教育長

ほかにございましたらお願いします。

ないようですので、議案第1号についてお諮りします。

議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

◎全委員

(異議なし)

◎染谷教育長

御異議なしと認めます。

よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

次に、教育長の報告事項に入ります。

報告事項に対する御質問等につきましては、説明終了後に一括してお受けしたいと思います。

それでは、まず、教育総務課からお願いします。

教育総務課長。

◎戸塚教育総務課長

教育総務課から、野田市表彰条例に基づく表彰等について御報告させていただきます。資料は、教育長の報告事項1ページになります。

野田市表彰条例に基づきまして、生涯学習部関係では社会福祉功労として、サンスマイル実行委員会様が表彰されることになりました。また、前澤友作様、株式会社C4C様に感謝状が贈られることになりましたので、御報告いたします。功績等につきましては、お手元の資料のとおりでございます。

なお、表彰式につきましては、例年1月4日の新年互礼会の席上で行われておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止によりまして、現在未定となっております。

次に、次第にはございませんが、小学校への寄附につきまして御報告させていただきます。資料はございません。

岩木小学校への教育振興備品についてでございます。株式会社千葉興業銀行の、千葉興銀SDGs私募債の発行企業様、こちら匿名となっております、の指定によりまして、千葉市美浜区幸町2丁目1番2号、株式会社千葉興業銀行 取締役頭取 梅田仁司様から、岩木小学校に踏切板5台、ロイター板1台、巻尺1個、車輪付きの距離計測器1台、ハードル6基、総額18万7,330円相当を頂きました。御寄附につきましては、3月議会市政一般報告で御報告をさせていただきます。

以上でございます。

◎染谷教育長

次に、生涯学習課からお願いします。

生涯学習課長。

◎安藤生涯学習課長

生涯学習課から報告させていただきます。

初めに、令和3年度子ども未来教室の小学校3年生分の概要について御報告いたします。資料は、報告事項の2ページを御覧ください。

小学校3年生につきましては、10月29日の実施を最後に、今年度を終了いたしました。実施回数は全体で212回、1校当たり12.9回でございます。感染症の拡大防止対策や、学校行事等により各校で実施回数にばらつきがあり、最も多かったのが、岩木小学校、清水台小学校、二川小学校及び関宿中央小学校で14回。最も少なかったのは、七光台小学校の7回でございます。最終の申込者数は395人、出席率は95.7%でございました。現在、参加児童及びその保護者並びに各学校の担当教員を対象に、子ども未来教室の実施内容や参加した児童の学習における変化等について、アンケート調査を実施しております。調査結果がまとめ次第、御報告するとともに、調査結果を今後の子ども未来教室の実施にいかしてまいります。

次に、令和4年野田市成人式について御報告いたします。資料はございません。

令和4年1月の成人式につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためオンライン配信で開催いたしますが、12月19日に実行委員と登壇者のみによる式典を執り行い、事前収録を行いました。オンライン成人式は、今回収録をした式典と恩師からのメッセージなどの実行委員企画の映像を、1月10日から1月31日までインターネット動画共有サービス「YouTube」の野田市公式動画チャンネルで配信していく予定でございます。また、成人式実行委員会や、市内在住の新成人、御家族などから会場開催をしてほしいとの御意見を多く頂いております。成人式実行委員会と教育委員会で協議した結果、現在の落ち着いた感染状況が継続する場合には、令和4年春頃に代替となる式典を開催することといたしましたので、現在、準備の方を進めております。

以上でございます。

◎染谷教育長

次に、青少年課からお願いします。

青少年課長。

◎桑村青少年課長

青少年課から、野田市少年野球教室の開催結果について御報告いたします。資料はございません。

11月28日、日曜日、野田市総合公園野球場において、法政大学野球部監督と選手29人の指導の下、市内の少年野球チームの子供たちと中学校野球部員及び指導者の総勢168人が参加し、少年野球教室を開催しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったことから、2年ぶりの開催となりましたが、青空の下、野球の技術だけではなく、練習の際のマナーや、指導を通して交わされる挨拶、お礼といった、日常生活においてとても大切な礼儀等を学ぶことのできる大変有意義な一日となりました。なお、開催に当たって、御厚意により西武台千葉中学・高等学校吹奏楽部の皆さんに、開会式前のオープニングで演奏を御披露いただくとともに、同じく西武台千葉高等学校野球部員の皆さんには、グラウンド整備等のサポートをしていただきましたので、併せて御報告いたします。

以上です。

◎染谷教育長

次に、学校教育課からお願いします。

学校教育課長。

◎中居学校教育課長

学校教育課所管事業について、4件報告させていただきます。

最初に、新型コロナウイルス感染症の対応について報告させていただきます。資料はございません。

全小中学校児童生徒の関係者は9月19日以降、約3か月間、陽性者が発生していません。現在感染が収まっている状況が数字からもうかがえます。現在の教育活動については、引き続き感染防止対策の徹底を図るとともに、感染リスクの低い活動から授業を進めているところです。現在の感染状況はレベル1の状況にあると受け止められますが、レベル2の対応も含めながら慎重に進めているところです。9月までなかなか取組ができなかった音楽の合唱やリコーダーなどの演奏、家庭科の調理実習についても、適切な感染防止対策を行った上で実施することが可能となり、学校の規模や施設の状況によって工夫して取り組んでいます。

修学旅行・林間学校の実施状況について申し上げます。修学旅行については、小学校では現在のところ16校が、日光方面へ1泊2日の日程で実施しています。また、1校が1泊2日の日程で別方面へ、1校が日光日帰りで実施しました。残り2校については、年明けに実施する予定となっております。林間学校についても、10校が1泊2日の日程で実施しています。中学校においては、9校が2泊3日の日程で京都・奈良方面への修学旅行へ、1校が1泊2日の日程でディズニーランド・シーへ、1校が日帰りでの修学旅行を実施し、全中学校が修学旅行を終えております。今後、中学校では1月から2月にかけて冬の林間学校として2泊3日で「ホワイトスクール」を予定しております。感染状況がこのまま収まった状況が続き、予定どおり校外学習を実施でき、子供たちの良き思い出作りにつながることを願うばかりです。

児童生徒のワクチン接種について御報告いたします。12月9日現在の接種状況の数字を申し上げます。1回目接種、2回目接種を合わせた児童生徒数は、中学校3年生生徒1,253名、接種率90.5%、2年生1,089名、接種率84.1%、1年生1,102名、接種率84.9%、小学校6年生については、12歳に達していない児童は接種を行えていない状況ですが、422名、接種率31.8%の状況となっております。前回報告させていただいた11月9日現在の数字と比べて、約1か月で平均して5%から10%接種率が上昇しております。子供たちの接種率が高くなることで、より学校での集団感染防止につながると考えています。

最後になりますが、現在新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いている状況ですが、今後も、文部科学省や県が発出するマニュアルやガイドラインを参考に、安全な教育活動が展開できるよう慎重に取り組んでまいります。また、家庭と協力し、学校での新型コロナウイルス感染防止に全力を尽くすよう学校を指導してまいります。

次に、公立幼稚園園児応募状況について報告いたします。資料は3ページとなります。

まず、1の新入園児応募状況について御説明申し上げます。右端の合計欄の一番下にありますように、3園の応募総数は12月1日現在37名で、昨年度の42名より5名の減となっております。次に、2の現在及び来年度の見込みの状況についてですが、来年度、3園ともに、今年度よりも入園児が減っており、近年、園児数減少傾向が進んでいる状況です。今後の園児数の推移については十分に注視していきたいと考えます。

次に、令和3年度第1回野田市通学区域審議会会議の概要について御報告させていただきます。資料は4ページとなります。

今年度は、学区の見直しを行わなかったため、三つの議題について、いずれも現状の報告とし、委員の方から御意見を頂きました。なお、委員17名中、出席13名、欠席4名で、傍聴者はおりませんでした。議題1としまして、小規模特認校、福田第二小学校の状況について、小規模特認校の特色と児童数の推移と今後の予想、卒業後の進路について御説明し、委員からは特に意見がありませんでした。議題2としまして、市内小中学校の児童生徒数の推移について、昨年度の会議で委員から要望がありました、児童生徒数の推移をグラフ化したものを地区別、学校別などにまとめた資料を配付し、御説明いたしました。委員からは、「今後の人口減少で児童生徒数が減り、市の将来を危惧している。」、「夢のある街づくりに励んでいただきたい。」との御意見がありました。議題3としまして、学区外就学について、北部小学区の許容学区である光葉町2丁目、3丁目の岩木小と清水台小への通学状況について、また、学区外就学許可の状況について、学区外就学の基準について御説明いたしました。委員からは、川間小学区の一部の児童の学区外就学に関する事、35人学級に関する事、保護者にも交通ルールの注意喚起が必要であること、南部中の学区内にある第二中への許容学区に関する意見がありました。事務局からそれぞれの御

意見について御説明し御理解を頂きました。

最後に、野田市表彰条例に基づく表彰等について、学校教育部関係について御報告いたします。資料は5ページになります。

野田市表彰条例に基づき、学校教育部関係では、教育文化功労として8名が表彰されることになりました。

学校教育課からの報告は、以上です。

◎染谷教育長

次に、指導課からお願いします。

指導課長。

◎角田指導課長

それでは、令和3年度第2回いじめアンケートの結果について御報告いたします。資料は、6ページからを御覧ください。

今年度2回目のいじめアンケートを、先月実施いたしました。今回のアンケートによるいじめの認知件数は、小学校が630件、中学校が39件、合計669件でした。1校当たりの認知件数は21.6件となります。

令和元年度から本年度までの推移表を御覧いただくと、認知件数は元年度に比べ減少しているものの、前回の6月までの数値で見ますと、解消率は元年度の方が高く、友人との関係を再構築していくことの困難さがうかがえます。アンケートの実施は年に2回ですから、教員には子供たちの校内での様子や、生活記録ノートの記述などから、児童生徒間の異変などにいち早く気付けるよう注意深く観察させたいと思います。

小中学生ともに、いじめの様態で最も多いのが記号「ア」の「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」で、次が記号「ウ」の「ぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする」でした。「ぶつかる・たたく・蹴る」といった行為は、数値的に小学生の方がやや多く、児童の発達段階によるものなのか、言葉による表現でなく代わりに手足が出るといった傾向があるとも考えられます。いじめを受けた相手は小中学生ともに、記号「ア」の「クラスの友達」が最も多くなっています。いじめを防止するためには、まず、教員が生徒指導の機能をいかした学級経営、授業経営を実践し、児童生徒に自己存在感を与え、教室内で共感的な人間関係を構築し、自己決定の場を与えるようにさせることが肝要です。教員は、学級の風土づくりとともに、子供たちが「分かる・できる」授業の工夫・改善に努め、いじめ防止につなげなければなりません。

平成29年度からの、いじめ認知件数の推移の棒グラフを見ますと、いずれの年度でも、ほぼ前期の認知件数より後期の認知件数の方が減少する傾向があります。いじめを受けた相手の多くがクラスの友達であることから、どの教室でもクラス替えや、入学したばかりの4月から6月までの間、人間関係の中でギクシャクした部分があるのかもしれない。

コロナ禍にあって、今年度も様々な制限があり、実習や学校行事が秋以降にずれました。次年度の感染状況が危ぶまれるところではありますが、次年度は日常的な授業に加え、校外学習や運動会を利活用し、温かな雰囲気のある学級の風土を築くとともに、いじめの防止に努めたいと思います。

続きまして、第49回マーチングバンド全国大会の結果を御報告いたします。資料はございません。

12月11日、土曜日、さいたまスーパーアリーナで第49回マーチングバンド全国大会が実施され、中学生の部に南部中学校が出場いたしました。グッド・パフォーマンス賞を獲得いたしました。本大会においては、金賞に値する賞であることを申し添えます。

以上でございます。

◎染谷教育長

ほかに報告事項がありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、ただいまの報告事項につきまして、御質問、御意見等がありましたらお願いします。

◎高橋委員

いじめの件数について、解消率が悪くなっているというような話ではありましたが、それでも先生方が日々努力されてるなということに、有り難いと思います。ただ、この統計の中で、先生からいじめられたっていうのが、小学校、中学校ともにあるんですよね。この内容というのは分かっているのでしょうか。と言いますのは、今朝NHKのテレビを見てましたら、不登校の理由ということを放送していたんです。どこの統計だったか、それが分からないので、はっきり出せないんですが、先生の言動によって不登校になったというのが結構多いんです。ところが、学校の認識としては、そうじゃないということを使うんですね。今回は子供たちの認識ですから、そんなに大きな差はないと思っているのですが、ただ、先生方の言動の中で、児童生徒がいじめられてるっていうふうに取り取るとすれば、一年間面白くないだろうな。その子にとっては不幸です。というようなことで、その内容について把握できていけば、分かる範囲で教えていただけますか。

◎染谷教育長

指導課長。

◎角田指導課長

学校によってはですね、いじめアンケートに書かれたこと以外でも、子供が家に帰ってから保護者に、先生からこういう言葉を言われたというふうな訴えがあつて、教育委員会の方に報告されることがあります。やはり、大人の方から子供に向かって使う言葉として不適切なものがあり、今年度も学校教育課長と自分とで学校を訪問し、そういった言葉遣いをした教員に事情を聴取しながら指導したというふうなこともございます。やはり、子供の目線で、その言葉をどういうふうな受取方をするのかということを、今一度、教員は真剣に考えて言葉を遣わなければならないと思います。例えば、「お前ら」とかというような言葉も、もしかすると一昔前は日常的な言葉遣いかもかもしれませんが、それは、子供からしてみると非常にきつい言葉に感じられたりとか、威圧的に捉えられるというようなことがあるかと思しますので、子供の目から見て、子供の耳から聞いて、どんな感じがするだろうかということを考えながら、温かな、言葉の温度の指導ができるように努めさせたいと思います。

◎染谷教育長

高橋委員。

◎高橋委員

ありがとうございます。私、1点だけお願いをしたいのは、若い先生方が多くなってきてます。感情のコントロールという面では、自分の経験でもそうなんです、若いとやっぱりカッとすることがある。そうすると抑えがきかなくなる。そういうことがあるかというふうにも思うんですが、是非、事例を挙げながら、若い先生方にも、若い先生だけっていうようなことじゃないのかもしれないなと思ながらいるところもあるんですが、ただ、コントロールという面では若い先生が、やはり、しづらだろうというふうに思ってますので、そういう機会を見て、是非、そういう具体的な事例を挙げながら、御指導い

ただければ、恐らく、この先生からいじめられたっていうのも、解決しているだろうというふうには思ってます。今、課長さんから話があったように、具体的に個別指導をやっているということですから、そんな心配はしてないんですが、こういうことが出てきますので、今後も注意をしながら、若い先生方を御指導いただければというふうに思います。よろしくをお願いします。

◎染谷教育長

ほかにありましたらお願いします。
伊藤委員。

◎伊藤委員

それに関連してなんですけども、このいじめの調査に対して結果が出てきたことを踏まえて、先生方へのいじめの啓発、研修、あるいは校内、あるいは市、どの程度行われているのか分かりましたら。

◎染谷教育長

指導課長。

◎角田指導課長

各学校におきまして、校内研修を通して、いじめのことだけではないんですが、言葉遣いとか適切なものを使うので不祥事防止研修というのは行ってます。学校教育課の方からも、管理主事が学校の方に出向いて、管理主事からの指導、研修も行ったりと、あるいはコロナ禍ですから、オンラインで今年の夏もやらせていただいたんですけども、そういった形で注意喚起の方は進めております。

◎染谷教育長

ほかにありましたらお願いします。
学校教育部長。

◎下川学校教育部長

本市は今年度、3件の不祥事案を出しております。その関係で、各学校には、必ず職員会議で管理職が最後に、その子供への言動あるいはSNS関係、そういった旬の話題というのでしょうか、子供を巻き込んだ事件・事故というのがありますので、そちらの方に特化した研修をしていただくようお願いをしております。あわせて、年2回いじめのアンケートをやっておりますが、12月に県からきているセクハラ・体罰アンケートというのがありまして、それを併用しながら、そこで年2回のアンケートで拾えなかった子供たちに、体罰っていう視点で、やはり言葉も出てきます。実際、たたかれたっていうのが出てきます。そういうのが集約されて、今後、教育委員会の方に上がってくると思います。もしくは、事実確認をして、子供と親に話をしてということで解決・解消に向かって、それでも厳しい内容については、こちらの方で対応していくことになると思います。以上です。

◎染谷教育長

ほかにありましたらお願いします。
永瀬委員。

◎永瀬委員

公立幼稚園園児の応募状況なんですけど、先ほどの令和4年の4月1日の見込数、関宿南部幼稚園と中部幼稚園が極端に減ってしまったというところで、今後、どういう方針と
いうか、見込んでいくのかというのが分かりましたら教えてください。

それと、ちょっと細かい所なんですけど、2の(1)の12月1日現在のところで、児童数の合計が合っていないような気がするんですけどね。

◎染谷教育長

学校教育課長。

◎中居学校教育課長

すいません。合計の方が間違えておりました。年少が49、年長が71、合計が120で訂正をお願いしたいと思います。そして、1番の方の関宿南部幼稚園、中部幼稚園の現状についてですけれども、年々減少傾向にあります。今後、市としましては、幼稚園の統合、それから、3年保育というものを含めながら、状況を確認しながら進めてまいりたいと考えております。以上です。

◎染谷教育長

公立幼稚園の在り方については、今、まさしく市当局とですね、保育課等含めて検討を続けているところでございますので、いろいろな方策があろうかと思っておりますので、また方針が決まりましたらお知らせしたいと思います。よろしく申し上げます。

ほかにありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、ないようですので、以上で教育長の報告事項を終了いたします。

本日の議題は、全て終了しました。

以上をもちまして、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。

以上会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委員